

交流 国を超えて人とつながる 体験 五感で本物に触れる

2018年度（平成30年度）

北京教育交流訪問報告書

教育交流推進事業の目的

〈生徒〉

教育交流ならびに異文化体験を行うことにより、これまで身に付けた力を試すとともに、多様な価値観に気づき、自身の視野を広げることで、将来に向けて学び続けようとする意欲を高める。

〈教員〉

教育交流ならびに異文化体験を行うことにより、多様な価値観に気づき、自身の視野を広げることで、教職員としての資質能力の向上を図り、「子ども主体の学び」の実現に向けた授業改善に生かす。



日程	2018年（平成30年）12月24日（月）～28日（金）4泊5日
訪問団	中学生 20名・教職員 5名・事務局等 5名
訪問先	首都師範大学第二附属中学 首都体育学院 中央音楽学院附属中学 北京動物園 天安門広場 故宫博物院 万里の長城 王府井 他



福山市・福山市教育委員会

教育交流

国を超えて同年代の生徒と交流したり、専門性の高い大学で自分の夢を追う学生と出会ったりしました。

首都師範大学第二附属中学

それぞれが自分の目標を持って、1日を通して積極的に交流しました。

授業参加

体育と英語の授業へ参加し、グループで課題を解決したり、交流したりしました。



英語の授業では、グループで英語の文章を組み合わせるゲームをした。北京の生徒の質問に、習った英語を駆使して答え、自分からも相手に質問をすることができた。この時、自分の言葉で人とつながる喜びを感じた。（中2）

体育の授業では、自分から話しかける勇気が出ず、固まっていると、たまたま目が合った生徒が優しく「英語で話せる？」と聞いてくれ、お互いに自己紹介をすることができた。英語の授業でも、先生の説明を私たちが理解できるまで、繰り返し教えてくれ、その温かさに触れて、自分の中にあった不安がすっと抜けていくような気がした。（中2）



私が英語でどう話せばいいのかわからない時でも、北京の生徒は積極的に話しかけてくれた。せかされることなく待ってくれたので、とてもうれしかった。日本のアニメについて話をしたが、英語力があればもっと深い内容の話ができ、相手のことをもっと知れたのではないかと思った。授業は、参加型で楽しく学べる工夫がされていた。先生と生徒がいろんな意見を出し合いながら進めていく授業も面白いと思った。（中1）

学校見学

学校施設を案内してもらい、楽器の演奏などの体験もしました。



私は、北京の生徒に将来の夢について質問した。彼女は、「まだ夢は決めていないけど、絵を描くことが好きだから絵の関係の仕事がしたい。あと、自分の母が医者だから、母のように優しく、人を助けられるような人になりたい。」と話した。「自分の意見を積極的に周りの人に伝える」という目標を持ち、北京の人たちとたくさんコミュニケーションをとることができた。（中2）

学校は、外観から日本とは違った。窓のデザインや壁の柄は、時代劇のセットに出てきそうで、中国の歴史を感じた。室内は、部屋数が多く広がった。一番印象深かったのは、体育館にカーリングのコートがあったことだ。新鮮だったし、初めて体験してとても面白かった。また、その場その場での臨機応変に英語を使って会話できたことはとても貴重で、自分ももっと頑張らなくてはと刺激になった。（中2）

文化交流

体験を通して交流できる内容を生徒が考え、日本の遊びや文化を紹介しました。



文化交流で、お互いが英語を使い、会話が成り立った時は感動した。また、日本のけん玉を教えたら、理解して楽しんでくれたこともうれしかった。文化の違う国の人たちとも通じ合えると感じ、「伝えたい」「理解したい」という気持ちや挑戦することの大切さを実感した。(中2)

文化交流で、私は漢字クイズを担当した。調べていくうちに、例えば「娘」という漢字のように、同じ漢字でも、国が違えば、使われ方が異なることが分かった。問題をいくつか出題すると、北京の生徒から様々なリアクションが返ってきて、とてもうれしかった。(中2)



文化交流で、折り紙を紹介した。手裏剣と一緒に折ったり、プレゼントとして説明書を付けた折りばらを配ったりし、喜ばれてよかった。北京の生徒が、「日本の文化は面白い」と言ってくれ、私もうれしくなった。(中3)



首都体育学院

中国武術の授業見学、大学生に個別で教えてもらいながらの体験などをしました。



大学生たちがすごい技を次々と見せてくれた。剣道とフェンシングを合わせたような武術は、特に迫力があつた。実際に鎖を回す技を体験した時に、大学生が優しく教えてくれ、回し方のコツを聞きながらすることで、基礎的な技ができるようになり嬉しかった。体育学院は敷地がとても広く、運動をするための設備が整っており、さすが専門大学だと思った。(中2)



一人一人がしっかりとした目標や高いプライドを持ち取り組んでいることに驚いた。みんなで高め合っているという環境がうらやましかった。弓道をする時に、私もプライドを持ち、日々の練習に励みたいと思った。(中3)

棒を少しだけ下げて下さい

中央音楽学院附属中学

ピアノや中国伝統楽器である胡弓の個人レッスンなどを見学した後、練習や学校のことを質問しました。

音楽学院は、将来プロになりたい人や音楽に関わりたい人が通っている学校だった。自分で決めた道なので途中であきらめる人はいないそうだ。学べる楽器が44種類あり、そのうち15種類が「胡弓」などの中国伝統の楽器だった。(中2)

私たちと同年代の生徒の演奏がとても上手で、私も中国の伝統的な楽器を演奏してみたいと思った。(中2)



胡弓の演奏を聞かせてもらい、伝統音楽についての理解を深めることができた。積極的に、先生に学校生活について質問したり、学生とコミュニケーションをとったりすることができた。(中2)



〔教員の報告〕

訪問した生徒は、北京の生徒と積極的にコミュニケーションをとろうともがいていた。その中で達成感や喜びを感じていた。それはうまくできたとか、やりたいことができたという結果に対する達成感と、一生懸命伝えようという過程での達成感があつたと思う。しかも、自分で考え、自分の力でやり遂げたのだからより一層達成感に満ちていた。私は、普段、無意識のうちに分かりにくいことを分かりやすく伝える仕事をしていることに気付いた。児童の力でやりきらせることと、しっかり評価していくことを意識したい。(小学校教員)

北京の人々のエネルギーを強く感じた。これからの日本人のエネルギーの源になるものは「好奇心」だと思う。日本人は、歴史的に新しいものを積極的に受け入れ、アレンジして発展してきた。この「好奇心」をいかに大切に育てていくか、それがこれからの私たちの役割ではないかと改めて感じた。(中学校教員)

私は中国に親しみがあり、一通りの文化・歴史や簡単な言葉は「知っている」と思っていた。しかし、実際に北京の地に立ってみると考えが変わった。五感から吸収する全ての体験は「知る」というレベルをはるかに超えていて、まさに「分かった」という表現がぴったりだった。このことから、知っているだけではまだ習得できたとは言えず、分かるまで学ぶことが大切だと思った。生徒が主体的に学ぶ姿を間近で見たことは、私の財産になった。「分かる」が増える授業をしていきたい。(小学校教員)



ここに入れて下さい

異文化体験

中国が誇る世界遺産を自分の足で歩いたり、食事や買い物をしたりして、異国の歴史や文化に触れました。

万里の長城



実際に万里の長城に行き、実物を見たとき、文明が発達していない時代に、これだけの長い城壁を造ったことに驚いた。日本でも昔、人力で城を建てたが、造る人々の姿を想像するとすごいと思った。万里の長城は、風が強く坂が急で少し怖かったが、登っていくと景色がとてもきれいで、中国が誇る世界遺産に自分の足で立ったことに感動した。(中1)

天安門広場では、-13℃という想像を超える寒さの中の見学だったが、現地の方が「大丈夫？」などと声をかけてくれ、心が温かくなった。万里の長城でも、険しい坂の途中で、現地の方と少し会話をすることができた。(中1)

北京動物園



天安門広場・故宮博物院



王府井



中華料理



今回、私たちは、北京の有名な観光地をたくさん訪れることができた。いろいろな中華料理を食べること、万里の長城を歩くこと、歴史的な建物を見てそれについて知ることなど、私がやりたかったことがたくさんできた。見学している時にも、日本との違いや、中国の文化・歴史などを感じることができたので、本当に「百聞は一見に如かず」で、行ってみてよかったと思った。

デジタルは入って → (中2)

いたのびすが、消えていたのを入れている。

北京では、食事を円卓で食べた。円卓でみんなの顔を見ながら食事をする、会話が弾み、楽しいものになった。(中1)

中国独特の街並みの雰囲気を味わいながら見学した。建物は緻密な設計により、大きく見えた。お店では、初めて値切り交渉にチャレンジし、成功した。(中2)

訪問の行程

24日(月)	25日(火)	26日(水)	27日(木)	28日(金)
出発式 福山発 広島空港発 北京首都国際空港着	首都師範大学第二附属中学 北京動物園 レセプション	首都体育学院 中央音楽学院附属中学 王府井	天安門広場 故宮博物院 万里の長城	北京首都国際空港発 広島空港着 福山着 解散式



出発式

5日間を一緒に過ごし、仲間とたくさん話しているうちに、自分ではひらめかなかったアイデアやものの見方を知ることができ、自分の視野が大きく広がった。仲間とともに活発に話し合い、互いに良い刺激を受けたと思う。この活動を通じて、かけがえのない友達がたくさんできた。(中2)

報告会

北京教育交流を通じた学びを確かなものにするために、目標を立て、自分たちで企画立案しました。動画等を用い、チャレンジしたこと、感じたことを伝えました。



私は、この活動を通して、自分を改めて認識することができた。今の私の力や改善点などがたくさん見えてきて、まだまだ自分にはたくさんの伸びしろや可能性があると感じた。また、気持ちの持ち方も前向きに変わり、この活動に参加したことが大きな飛躍のきっかけになると思う。(中3)

私は、教育交流を通して、変わることができた。例えば、積極的に意見を言えるようになった。参加する前は、人目を気にして自分の言いたいことを言えていなかったが、今回、自分の目標を明確に持つことで、今までよりも積極的に・主体的に意見を言うことができたようになった。(中2)



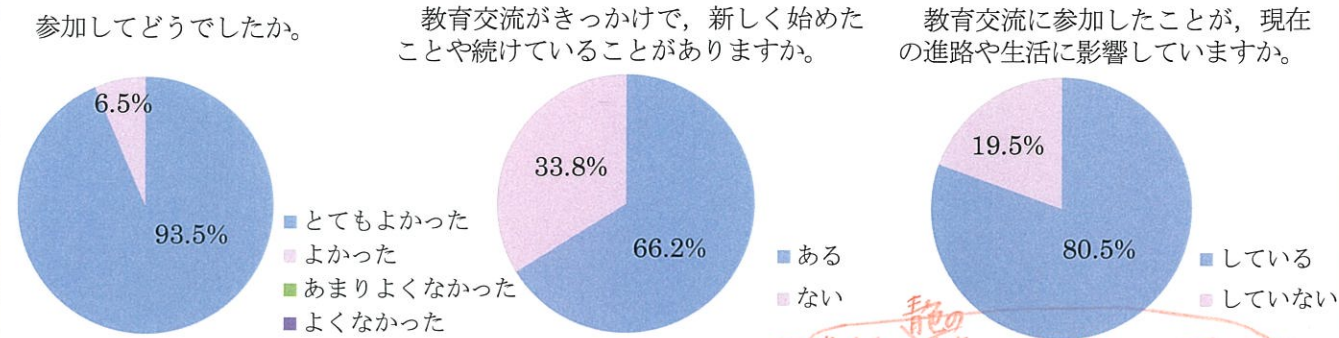
北京の生徒はとても好意的で、日本に関心を持っていた。また、私自身も北京の生徒と仲良くなり、たくさん話すことができた。英語が苦手でも伝えようと思えば、相手と心を通わせることができると分かった。今回交流するにあたって、みんなと協力し、自分たちで企画したことで、団結力も高まり、自分自身もやればできるのだと自信を持てた。(中3)

派遣者数

年度	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	合計
生徒	20	22	20	20	19	20	20	20	20	19	20	220
教職員	10	12	10	8	8	9	6	5	5	5	5	83

派遣者の声

第1回～第7回の教育交流訪問参加者141名にアンケート調査を行い、77名から回答をいただきました。(回答率 54.6%)



高校は地元で受験すると当たり前のように思っていたが、教育交流に参加して、自分の可能性を感じる選択をしたいと思うようになり、高等専門学校という進路を選択した。就職活動や仕事においても、自分はどうか、どうしたいかということを中心に考えるようになった。教育交流に参加すると自分で決めたこと、北京の学生の自己を向上させる姿勢に影響されたからだと思う。(現会社員・第1回派遣者)

対象者参加時の学年別割合

中学1年	35.4%
2年	44.7%
3年	7.1%
高校生	12.8%



第5回訪問

行ったことがない場所、言葉が通じない国、知り合いのいない環境に飛び込んだことで、まだまだ自分の知らないことがたくさんあることを知った。思い込みを持たず、「人と人」として関わるようになったのは、北京に行った経験からだと思う。(現公務員・第3回派遣者)

この活動を終えた後に、生徒会や部活動の部長等、人前で行動することに意欲的に取り組むことができるようになった。現在は、プレゼンテーションをすることが多くなり、自信を持って発表している。分からないことも自分の持っている知識でどうにかして伝えるよう心がけている。これは、現地で、自分の知っている英語を駆使して意思疎通した教育交流の影響があるからだと思う。(現大学生・第2回派遣者)

やりたいことに積極的に動くようになり、挑戦するということができるようになった。不安や恐怖心が全くないというわけではないが、「自分が動かないと周りは何も変わらない」と自分に言い聞かせて行動に移している。失敗することもあるが、失敗を重ねても、最終的に成功すればよいと思っているので、いろんな経験をたくさん積んでおきたいと思っている。(現大学生・第4回派遣者)



第1回訪問

北京市教育交流推進事業の経過



2007年(平成19年)

- 5月 広島大学北京研究センター長佐藤利行教授を通じて、北京市教育委員会劉利民主任から教育交流の提案を受ける。
- 8月 福山市教育委員会担当者が、北京市教育委員会を訪問し、意見交流及び情報収集を行う。
- 10月 羽田皓市長、小丸法之渋谷育英会理事長、蔵本久市議会議長、高橋和男教育長他7名が訪中
福山市教育委員会と北京市教育委員会との教育交流等に関する覚書締結
◇帰国後の市長会見骨子◇

○本市と北京市の中学生・高校生や教職員の交流を進めていく。
○次代を担う若者が隣国との交流をとおして、国際的視野や国際感覚を身に付け、国際社会の中でたくましく生きる力を付けることを期待する。



2008年(平成20年)

- 4月 北京市教育交流事業【中・高校生派遣】【教職員派遣】募集要項策定
北京市訪問団派遣費補助基準策定
- 7月 現代の中国画と日本画展 ふくやま美術館 3,844人入館
- 12月 北京市国際教育交流センター・北京市大中中学校国際交流団 21人表敬訪問
第1回北京教育交流訪問団派遣(24日～28日 中・高校生20名、教職員10名)
・訪問先：北京市教育委員会、海淀実験中学校、北京市西城外国語学校
・見学先：天安門広場・故宮博物院、天壇公園、万里の長城、北京動物園等
- 2月 報告会開催

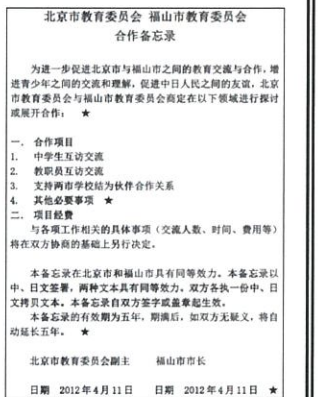


2009年(平成21年)～2011年(平成23年)

- 12月 第2回～第4回北京教育交流訪問団派遣
- 2月 報告会開催

2012年(平成24年)

- 4月 北京市教育委員会何勁松副主任
首都師範大学附属中学金晓莉副校長他1名が市長表敬
福山市教育委員会と北京市教育委員会との教育交流等に関する覚書を再締結
- 12月 第5回北京教育交流訪問団派遣
- 2月 報告会開催



2013年(平成25年)～2016年(平成28年)

- 12月 第6回～第9回北京教育交流訪問団派遣
- 2月 報告会開催

2017年(平成29年)

- 12月 第10回北京教育交流訪問団派遣
福山市教育委員会と中国教育国際交流協会及び渋谷育英会との教育交流に関する協定書に調印
- 2月 報告会開催



2018年(平成30年)

- 12月 第11回北京教育交流訪問団派遣
- 2月 報告会開催